

中曽根弘文 文部大臣 財団法人染色体学会 50 周年記念式典祝辞

本日ここに、財団法人染色体学会五十周年記念式典が挙行されるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

まず、染色体学会が創立五十周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。貴学会は、創立以来、五十年の長きにわたり、ヒトを始め動物や植物の染色体に関する研究を実施するとともに、その成果の普及に大きな役割を果たして来られました。特に、動植物を通して、染色体の構造学的、遺伝学的、細胞学的、系統学的特徴について明らかにされた成果は、生物、医学、薬学、農学などの幅広い分野で応用されており、今日の学術の進展に大きく寄与されております。これもひとえに歴代理事長はじめ、会員各位のご努力の賜であり、深く敬意を表する次第であります。

近年、染色体標本作成法の確立、各種染色法等の技術開発により、染色体分析の精度向上だけでなく遺伝子マッピングやゲノム解析が可能となり、染色体と先天性疾患との関係だけでなく、がんが発がん遺伝子やがん抑制遺伝子の発見とともに染色体と密接な関係を示すことが明らかにされるなど、医学方面での研究が急速に進みました。また、生物の分化系統についても、新たな知見が急速に積み重ねられております。最近では、遺伝子組換え技術の急速な発展に伴い、単一遺伝子のマッピング、特定の染色体や染色体部位の標識が可能となり、その応用から、がん、老化、種々の遺伝子疾患、発生・分化などの研究で興味深い成果が発表されていることは周知の事実であります。文部省と致しましても、学術審議会答申や科学技術基本計画を踏まえ、研究費・研究体制の充実、若手研究者の養成・確保など、学術研究の振興に努めておりますが、学術研究の進展に伴い、今後の貴学会の成果に寄せられる期待は、ますます大きなものになっております。

貴学会が、これまでの五十年にわたる実績の上に、さらに、今後一層、我が国及び世界の染色体に関する研究の発展及び文化の向上のため、大きく貢献されますよう祈念いたしまして、お祝いのお言葉といたします。

平成十一年十一月二十日

文部大臣 中曽根 弘 文



(財) 染色体学会第 50 回記念大会 1999. 11. 20-21 西宮市・武庫川女子大学



1) 鏡割り



2) 祝賀会, 初代, 第2代理事長を偲ぶ



3) 武庫川女子大学との共催シンポジウム (山崎 洋博士)



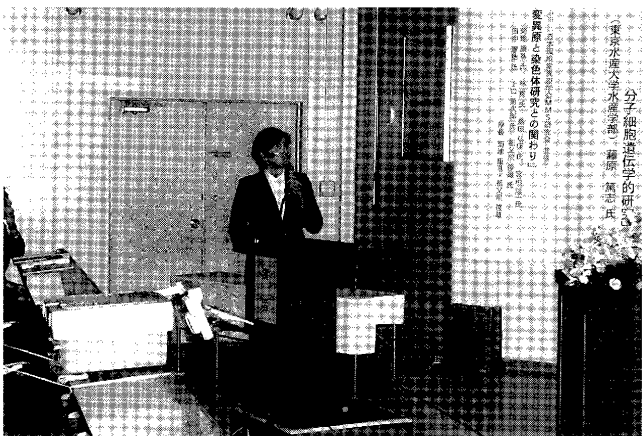
4) 祝賀会スナップ



5) ポスターセッション



6) ポスターセッション



7) 学会賞受賞講演



8) シンポジウム